令和３年度　学校関係者評価委員会　記録

委　員：水越省三（同窓会代表、葵名和幼稚園理事長）
武石協子（保育・幼児教育関係施設代表　社会福祉法人ＮＵＡ前たきこ幼児園長）
大畑領治（地域代表　昭和区民生・児童委員）
辻　育代（保護者代表　本学後援会会長）
杉浦宏幸(校長)、 坂部良二(副校長)、 加藤由美(保育科長・教学主任)

開催形態

令和３年度の学校関係者評価委員会については、当初６月２５日（金）に開催の予定であったが、新型コロナウイルス感染防止の観点から、各委員に資料を送付し、意見を伺うという形態に変更して実施した。

送付資料

(1)　令和３年度 名古屋芸術大学保育専門学校のめざす教育
(2)　令和３年度の教育
(3)　令和３年度学生数状況
(4)　教育課程〈別添冊子資料〉　学生便覧・講義要綱 2021
(5)　令和３年度　前期・後期時間割表
(6)　令和３年度　年間行事計画
(7)　令和２年度就職状況
(8)　自己評価、学校関係者評価について
(9)　その他
名古屋芸術大学保育専門学校　閉校までの取組について

１　校長あいさつ

紙面上にて、校長から外部委員への挨拶を行った。また、その中で、経営方針として、学生支援の重点として５項目及び重点努力目標としての５項目にしっかり取り組んでいくことや、隣接している滝子幼稚園、たきこ幼児園との連携を深め、両園でのプレ実習や園の先生による授業等を通して、即戦力となる幼稚園教諭・保育士の養成に努めていく旨の説明があった。また、コロナ禍ではあるが、感染予防対策に力を入れながら対面授業を実施していくことや、実習前には全生徒にＰＣＲ検査を実施する予定であることの報告があった。

２　外部委員からの意見

・資料③で述べられた教育目標である「幼稚園教諭、保育士の育成」に関して、実践実習以外でも、アルバイトなどが同敷地内にある幼稚園や幼児園で行えることは非常に良いことだと思っている。

・資料④で述べられた職業実践専門課程の充実を図るための授業について、コロナ禍の中で社会においてはテレワークが始まったこともあり、学生にもオンライン授業で少しでも社会の仕組みについての指導があっても良かったのではないか。

・資料⑨の「自己評価」「学校評価」の結果に関して、「Ａ」評価が半分くらいは欲しかった。